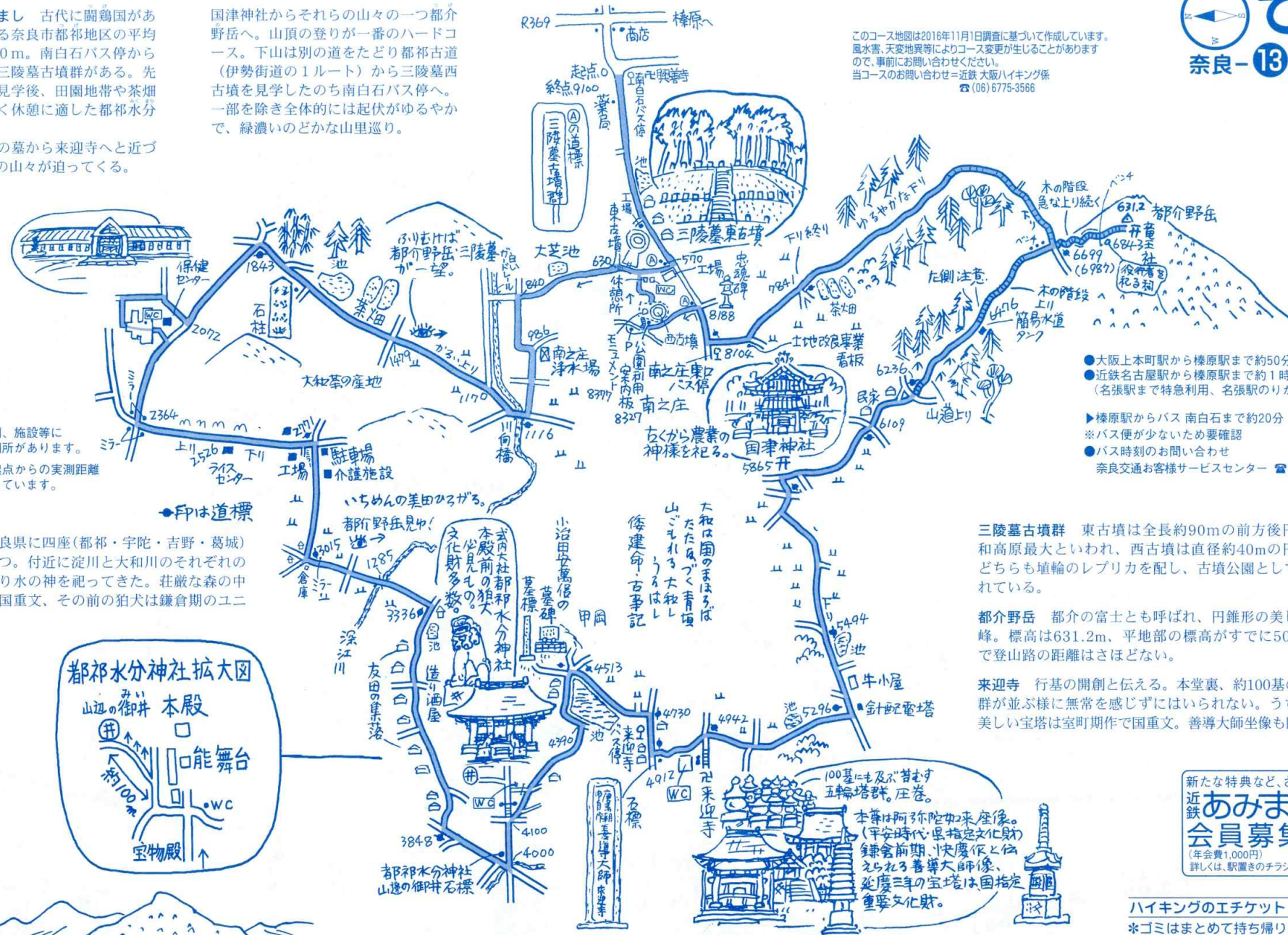


コースのあらまし 古代に關鸕国があったといわれる奈良市都祁地区の平均標高は約470m。南白石バス停から西に歩くと、三陵墓古墳群がある。まずは東古墳を見学後、田園地帯や茶畑を進みほどなく休憩に適した都祁水分神社に着く。小治田安萬侶の墓から来迎寺へと近づくとつれ南部の山々が迫ってくる。

国津神社からそれらの山々の一つ都介野岳へ。山頂の登りが一番のハードコース。下山は別の道をたどり都祁古道(伊勢街道の1ルート)から三陵墓西古墳を見学したのち南白石バス停へ。一部を除き全体的には起伏がゆるやかで、緑濃いのだかな山里巡り。

このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06) 6775-3566



- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。
- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

- 大阪上本町駅から榛原駅まで約50分
- 近鉄名古屋駅から榛原駅まで約1時間55分(名張駅まで特急利用、名張駅のりかえ)
- ▶榛原駅からバス 南白石まで約20分 ※バス便が少ないため要確認
- バス時刻のお問い合わせ 奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742) 20-3100

都祁水分神社 奈良県に四座(都祁・宇陀・吉野・葛城)ある水分神社の一つ。付近に淀川と大和川のそれぞれの支流の分水嶺があり水の神を祀ってきた。荘厳な森の中にたたずむ本殿は国重文、その前の狛犬は鎌倉期のユニークな秀作。



三陵墓古墳群 東古墳は全長約90mの前方後円墳で大和高原最大といわれ、西古墳は直径約40mの円墳で、どちらも埴輪のレプリカを配し、古墳公園として整備されている。

都介野岳 都介の富士とも呼ばれ、円錐形の美しい独立峰。標高は631.2m、平地部の標高がすでに500mなので登山路の距離はさほどない。

来迎寺 行基の開創と伝える。本堂裏、約100基の五輪塔群が並ぶ様に非常を感じずにはられない。うち一基の美しい宝塔は室町期作で国重文。善導大師坐像も国重文。

新たな特典など、さらに充実!
近鉄 **あみま倶楽部**
会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

●約9キロ[南白石バス停～三陵墓東古墳～都祁水分神社～来迎寺～都介野岳～南白石バス停]

大和高原・都祁の里コース

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミや空き缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊明
*無断転写禁止。

